

立ノ今日ニ於テ資本主義ノ手先張學良、蔣介石ノ手ニ再ビ滿洲國ヲ自由ニセシムルコトハ反對デアルト云フニアリ我々ハ寧ロ同國內ノ反資本主義ト密接ナル結合ヲスルコトニ意欲ガアルト云フニアル

「リ」ハ五、一五事件ニ對スル意見ノ決定デアルガ同事件ハ明治維新此ノ方稀有ノ事件デアル

今彼等ノ態度ノ是非ハ言ハヌ又内部的立場ノ相違ハ別トシテ彼等ガ持つ反資本的の信念ヲ如何ニ扱フベキカニ付黨本部ニ於テ意見ヲ決定セヨト云フニアル

四、ノ行動方針ハ今迄ノ様ナモノデハ不可デアルカラ常備隊動員隊ヲ置キソシテ動員隊ガ確立スルト云フニアル

五、ノ黨財政ハ右行動ノ發展ニ依ツテ膨脹スル黨費用ヲ支辨スル爲メ非常時資金局ヲ獨立スルノデアルガ茲ニハ具體的ニ云ツテ居ラヌガ私一個ノ考ヘデハ種々ノサークル、軍人、學

生等ノ各サークルニ資本網ヲ張り而シテ充分ナル能力ヲ發揮セシメルノデアアル

要スルニ信念ガ必要デアアル、現在黨内外ヲ問ハズ確乎タル信念アリヤ否ヤ言葉ノ上ノミデナク我々ノ政權ヲ確立スルト云フ信念ヲ持タネバナラヌ、内部ガ確乎タル信念ヲ持テ外部モ持ツタ時ニ於テ始メテ理想ガ實現スル

ソノ理想ノ生レテ來ル母体ハ組織デアリ、政策デアリ、行動デアアル、今確乎タル信念ヲ要スル時ニ直面シテ居ルノデアアル

二、三年スレバ特權階級ガ政黨ヲ組合ノ叩キ壞シニ當ル時代カ來ル、

此ノ時御互ガ赤襟ニナツテ抱キ合フ必要ガアル、行懸リヤ感情ヲ捨テ、労働組合ハ戦線ヲ統一シ農民組合ハゲンゲン伸ビ而シテ凡ユル、サークルヲ進ジテ黨ノ伸張ヲ考ヘバナラヌ

本業ハ我常任委員會カラ特別委員會ヘ特別委員會カラ本部ニ